



# 日本フィルハーモニー交響楽団 こんな活動をしています

(2020年度活動報告)

## JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311

<https://www.japanphil.or.jp>

ABC朝日  「Welcome クラシック」インキネン & ヤマカズが語るミニ番組  
毎週水曜日 22:54~23:00 放送中!!

チケットご予約・お問い合わせ

[日本フィル・サービスセンター]

TEL.03-5378-5911 (平日10時~17時／現在:平日11時~15時)  
※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。  
予めご了承ください。

FAX.03-5378-6161 (24時間)

E-MAIL : [order-ticket@japanphil.or.jp](mailto:order-ticket@japanphil.or.jp)



公式Twitter  
@Japanphil



公式アカウント



日本フィルハーモニー交響楽団 <こんな活動をしています>

2020年度活動報告

[Triptyque トリフォティーグ第16号]

編集・発行 (公財)日本フィルハーモニー交響楽団 2021年7月  
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311 [www.japanphil.or.jp](http://www.japanphil.or.jp) [office@japanphil.or.jp](mailto:office@japanphil.or.jp)

Triptyque  
[トリフォティーグ]  
Vol.16

# 2020年度活動の概要

## ご挨拶

2020年度は日本フィルのみならず芸術実演団体にとって悪夢のような一年でした。特に日本フィルにとっては、2019年4月の海外公演を足がかりに、より一層の飛躍を目指した一年だっただけに、そのダメージは芸術的にも経済的にも大きかったと言わざるを得ません。

コロナ禍により楽団は芸術面・コミュニケーション面・財政面で大きな毀損を受けました。経済的影響はとりわけ甚大で、年間72公演の中止で6億円近い収入を失い、年間の経常収支は3.7億円の赤字となり存続基盤を危うくしました。立ち往生している中、全国の多くの方々から激励と温かい多額の支援寄付金をいただき、息を吹き返すことができました。さらに、民間助成、国・自治体からの助成、自助努力による積み上げもあり、2020年度決算は奇跡的に赤字を回避、正味財産を厚くする結果となりました。予想だにしなかったこと、言葉に尽くせぬ感謝の気持ちでいっぱいです。

これで一見存続の危機を脱したようにも見えますが、そうではありません。変異株の拡大などコロナ禍の収束は目途がたたず、通常の活動には当分戻れません。

演奏収入を主たる財源とする日本フィルに

とっては2021年度も赤字基調の厳しい状況が続くと予測せざるをえません。

6月の活動再開後も首席指揮者インキンセンをはじめ在外演奏家の招聘など様々な制約に苦しみました。

“温かさ”“人と寄り添う”をモットーとする日本フィルが皆様とのコミュニケーション機会を大きく奪われることとなり、それまで当たり前のように共有していた時間が、如何にかけがえのない素晴らしいものであったか、日常に音楽があることの意味を深く考えさせられる日々でした。失ったものも多くありましたが、たくさんの人々の「温かい心」に支えられた日本フィルはそれ以上の大切なものを得たように思います。

ニューノーマルの世界では皆様からのお力を糧に、芸術性と社会性を兼ね備えた音楽団体として、社会の要請にしっかりと応えられるよう、自らの変革を積極的に行っていく所存です。引き続き日本フィルの演奏活動・音楽活動をしっかりとお見守りいただき、温かく厳しいご助言、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人  
日本フィルハーモニー交響楽団

理事長 平井俊邦



## 2020年度 総括

2020年度当初も、以前より掲げている4つの柱、「オーケストラ・コンサート」、「エデュケーション・プログラム」、「リージョナル・アクティビティ」、「被災地に音楽を」を通じて文化の発信を行ってまいりました。しかし現実には新型コロナウイルス蔓延の影響によって演奏や移動に大きな制限が課され、理想的な活動とは程遠い形となりました。このコロナ禍により、2020年2月末から約4か月間にわたり一切の活動が停止され、再開後も感染拡大防止対策の影響等から、2020年度だけで72公演が中止に追い込まれました。定期演奏会のみならず、46年続いている「夏休みコンサート」や九州全県10公演のツアーも含まれ、日本フィルは

- (1)芸術的毀損
- (2)コミュニケーションの毀損
- (3)財政的毀損

の「3つの毀損」を受けました。

計画した演奏収入のうち6億円を失い、年間経常収

支では約4億円の損失、3億円を超える債務超過を覚悟せざるを得ず、一気に「楽団存続の危機」を迎えることになりました。

また多くの人々とのコミュニケーションの機会も失われてしまいました。まさに芸術団体としてのアイデンティティが根本から揺るがせられかねない「危機」の一年でした。

2020年6月以降は様々な制限下であるにせよ公演を実施していますが、集客の面ではまだまだ「原状復帰」までは程遠い状況です。海外からのアーティスト招聘は叶わず、首席指揮者が2019年10月以来指揮を出来ていないという異常事態も続いています。

そのような中でもオンラインや映像を活用した取り組みや、落合陽一氏と継続しているテクノロジーを駆使したコンサート等、今後のオーケストラの在り方を模索し続けています。

上させ、コロナ疲れした聴衆の心にも安らぎと励ましを届けることができたのではないかと考えています。

演奏活動再開当初はアンサンブル力の回復が課題でしたが、楽員の努力により演奏力は速やかに取り戻すことができたと考えています。

しかしながら、外国人の入国規制により首席指揮者インキンセン、桂冠指揮者ラザレフをはじめ優れた外国人アーティストとの共演が不可能となったことで、長期的に意図した芸術性の向上については大きく停滞したことは否めません。

### 芸術性の追求と芸術的毀損

先の見えない1年ではありましたが、「『クラシック』に真正面から取り組む」ことは一定の成果を達成できたと考えています。業界のガイドラインに従った運営を徹底したため、舞台上のソーシャル・ディスタンスの確保により、当初はアンサンブル上の大きな困難が生じました。また、編成の大規模な作品の演奏はできなくなり、バッハ、ハイドン、モーツアルト、ベートーヴェンといったベーシックなレパートリーを取り上げる機会が増えました。このレパートリーの制限は、芸術性向上に制約をもたらすことになる反面、オーケストラの「基礎体力」を向

### 社会性の拡充とコミュニケーションの毀損(社会的活動の毀損)

“温かさ”“人に寄り添う”をコーポレート・カラーとしている日本フィルにとって、その「寄り添い」が大きく毀損された一年でした。「社会性」を担うエデュケーション・プログラムやリージョナル・アクティビティといった活動が大きく制限されたためです。そうした中で、映像の配信やオンラインイベント、ライブビューイングなど、新たな方法でのコミュニケーションの模索を迫られたといえます。

46年にわたって子どもたち・家族のオーケストラとの出会いを作り続けてきた「夏休みコンサート」は当初予定の17公演を中止し、「一日だけの夏休みコンサート」として小規模に継続。しかしながら、例年2万人を大きく超える子供と家族に音楽を届けてきたこのシリーズの中止によって、楽団の社会性は大きく毀損されたと言わざるを得ません。

同様に、九州全県を巡る九州公演も、実行委員会が集まって活動を行うことができず、公演の準備に不安がある地域が多いこと、感染の状況がいまだ好転しない地域があること、そして何より市民の皆さまの安全と感染拡大の防止が今は最も重要であるとの結論に至り当初計画の10公演を見合させました。指揮者なしの

小編成オーケストラに企画を改め、佐賀・唐津2か所で「九州公演」として開催しましたが、各地実行委員をはじめとする地域の方々との、その土地ならではの温かい交流の場は失われてしまいました。

東日本大震災以降継続をしている「被災地に音楽を」も、当初の計画の多くが中止となりましたが、オンラインによる代替事業を実施。また「一日だけの夏休みコンサート～feat.東北の夢プロジェクト」とし、被災地の子どもたちの最新の活動を記録した映像をコンサート内で紹介するなど、コロナ禍においても最大限の実現の努力をしました。

しかし、コンサートの場はお客様との最大の「心の交流」の機会です。演奏によるお客様とのコミュニケーション自体が困難となり、「音楽のある生活」への渴望をお客様ともども日本フィル自身が大きく意識する年となりました。もちろん、社会的活動の中止によるお客様との触れ合いが断たれたことは、文化芸術の担い手としての日本フィルにとって、その果たすべき役割を担えない苦しさもまた強く意識することとなりました。

## 財政基盤の強化と財政的毀損

経済的影響はとりわけ甚大で、計画した演奏収入のうち6億円を失い、年間経常収支では約4億円の損失、3億円を超える債務超過を覚悟せざるを得ず、一気に「楽団存続の危機」を迎えることになりました。

活動継続のため、キャッシュフローを確保する一方、文化芸術の必要性、重要性を社会に訴えました。特に資金確保については、2020年3月中に金融機関との間で緊急融資の実行、融資枠確保の話が進み、先行きが全く見えない中、落ち着いた対応が可能となりました。巨額の赤字に対峙するためには、自助努力(給与カット等の実施)の上、社会に対して支援を要請する以外なしと判断、積極的に情報開示と発信に踏み切りました。結果的に見るとこの効果は大きく、「日本フィルを存続させよう」と全国の多くの方々から寄付等の支援をいただきました。個人寄付金等の総額は約1億5千万円近くに

## コロナ禍の楽員(演奏現場)、スタッフへの影響

2020年2月の九州公演終了後、6月の演奏活動の再開まで、楽員は長期にわたる自宅待機状態が続き、楽団とはメールや郵便物等のみでの交信となりました。

また公演再開後も、舞台上のソーシャル・ディスタンス確保に起因するアンサンブルの困難といった演奏上の影響に加え、入館時間の制限、毎日の消毒や検温、密を避けるための楽屋の使用制限、燕尾服やタキシードといった衣装でなく黒スーツ等の簡易衣装を自宅から着用、食事場所・待機場所の制限等業務上の細かな感染対策防止策による影響・困難が続いています。

スタッフについては、2020年4月8日の第一回緊急事態宣言に伴い、在宅勤務体制をとりながら事業中止等の対応に追われることとなりました。在宅勤務による

## 新たな事業、新たな演奏会の様式、コロナ禍から生まれるもの

コンサート開催が流動的で「先の見えない」状況の中、生の演奏会のアクセスを増やす工夫も求められています。「生の演奏の魅力」を伝えることが楽団の最重要方針ではありますが、コロナ禍においては、演奏会の配信等により、お客様とのコミュニケーションの確保維持へとつなげるための新たな工夫をこらしました。

「一日だけの夏休みコンサートfeat.東北の夢プロジェクト」 P10~11

「特別演奏会with九州」 P10~11

また、BS朝日『Welcomeクラシック』(水曜日午後10時54分~11時)への出演を2019年4月から継続。首席指揮者インキンと正指揮者山田和樹がオーケストラの魅力を演奏とともに伝えるミニ番組です。クラシックになじみのない層へのアプローチとしても注目されました。今年度は「Zoom」でコメントを収録など、コロナ禍ならではの編集となりました。

補正予算による国の支援も、失われた事業への補填のみならず、コロナ禍に対応する新たな事業による

達しました。

国・自治体からの助成も徐々に積みあがったほか、民間企業・団体からの助成もあり、結果2020年度は奇跡的に債務超過を回避、正味財産を積み上げることができました。

「楽団存続の危機」に瀕した楽団に対し、お客様をはじめとする多くの方から、このような物心両面での温かいご支援をいただいたことは楽団の大きな力となりました。 P16~17

併せて、公益法人として初めて資本性劣後ローンを導入できた意味は大きく、事業の早期回復のみならず、新事業展開を含む経営の長期安定化に資すること間違いないと考えています。

## コロナ禍の楽員(演奏現場)、スタッフへの影響

業務遂行体制の整備、オンライン会議等によるスタッフ間のコミュニケーションの維持に努めました。

とりわけ、公演中止に伴う演奏現場への対処、企画面でも出演者や企画変更の必要への対処、チケット代金払い戻しや寄付金への振替、新規寄付金等の受領事務、雇用調整助成金やJ-LODlive等の煩雑な申請業務、産業医との緊密な打ち合わせなど、各部で膨大な業務に追われました。

また、編成の制限の対応、従前より厳格化した管理、使用ごとのホールや備品の消毒業務、楽屋使用などの制限など、様々な制約のもとでの運営により、演奏業務スタッフの負担も著しく増大しました。

## 2021年度に向けて

コロナ禍の影響は、オーケストラの今後の「あり方」について大きな問い合わせと見直しの機会を提示することとなりました。

まずは、「生の音楽の感動を共有する」オーケストラの在り方を大切に堅持しながら、新たなコミュニケーションの在り方の見直しが迫られていると感じています。繰り返されるコロナの影響でコンサートへの客足が大幅に鈍っており、これは日本フィルのみならずオーケストラ業界全体が直面している危機です。また、オフィシャルなルールである入国制限や入場者数制限が解かれないうちは「危機」が当面続くことになります。

そういった非常事態の中で私たちオーケストラは、いかに自身の芸術的・社会的価値を訴え、多くの共感を得ていけるかが大きなカギになるでしょう。「コンサートの感動」をベースに、コロナを契機に盛んに実施されて

いるオンライン配信なども積極的に活用し、引き続きプロフェッショナルの演奏団体として文化的交流の維持と促進を図ってまいります。

それとともに、これまでにない形でも「生の感動」を届けるための施策が急務となります。今後は「ライブ-配信-コンテンツ活用」といった、日本フィルの演奏の3つの展開の可能性を追求することが必須となるでしょう。まずはデジタルトランスフォーメーションの急速な進化に適応し、「新たな事業機会」の創出、「演奏コンテンツ」を用いた新たなコミュニケーション手法」を確立することが今後の事業の大きな課題となるのは間違いません。

アフターコロナとなった際には、日本フィルのオーケストラ・コンサートらしい、かつての活気を取り戻すだけでなく、より大きなうねりとして感動の共有に努めてまいります。

### Data 2020年度活動回数一覧

	主催	受託(共催含む)	計
オーケストラ公演	49	39	88
室内楽公演 (*「被災地に音楽を」)			131(*5)

※オーケストラ公演は(主催・受託)全72公演が中止

### Data 2020年度配信回数

	主催	共催
メンバーズ TVU チャンネル	21	3
イープラス		3
ミュージックラッシュ	1	

### Data 2020年度経営報告

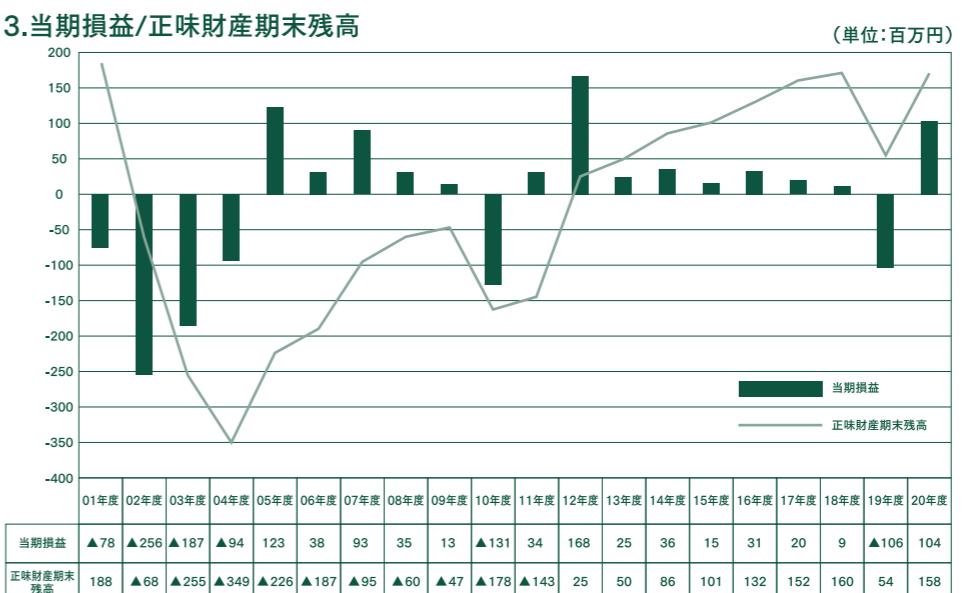
#### 1.貸借対照表 (2021年3月末現在、単位:千円)

科 目	金 額
I.資産の部	
1.流動資産	642,594
2.固定資産	181,452
資産合計	824,046
II.負債の部	
1.流動負債	268,309
2.固定負債	396,826
負債合計	665,135
III.正味財産の部	
正味財産合計	158,911
負債及び正味財産合計	824,046

#### 2.正味財産増減計算書

科 目	金 額
経常収益	1,156,502
経常費用	1,050,607
経常外損益等	▲ 1,521
当期正味資産増	104,374

#### 3.当期損益/正味財産期末残高



# オーケストラ・コンサート

2020年度は多くの変更を迫られる一年ではありました。オーケストラ・指揮者・ソリストそしてお客様の理解と協力を得て、様々な制限がある中で今できる最高のものをお届けできるよう尽力いたしました。

当初のプランが崩れている中で、残念ながら期待していた効果を十全に満たすことが出来たとは言ふことはできません。世の中が様々な制限下のもとで演奏活動を行っていくことは、演奏団体として非常に不安定な状態であることも否めません。その一方でこのような時期だからこそ、上質な音楽を渴望している方々を魅了する公演づくりに、より一層の知恵と努力が必要であることを痛感しています。

オーケストラが成り立つためには、社会の安定と国内外の人々との交流が必須です。その土台が揺らいでいる現在、オーケストラ自身がコンサートを通じて真っ直ぐに芸術性を追究し、お客様へその価値をアピールすることで、これまでに考えられなかった形での社会への波及効果が生じうると考えています。

## 定期演奏会

### 《東京定期演奏会(サントリーホール)》

全ての公演において中止ないしは変更を迫られた異常事態の一年間であり、ソーシャル・ディスタンスの確保等の感染症対策がプログラミングにも影響するという事態に当初は大いに戸惑いました。首席指揮者ピエタリ・インキネンをはじめ主要ポストを海外在住者が務める日本フィルにとって、彼らやソリストの来日が叶わないことは音楽面で支柱を欠く形となり、非常に大きな痛手でした。それに伴い、年度を越えて実施予定だったインキネンとのベートーヴェン・ツィクルスをはじめ、東京定期の柱と認識していた計画がことごとく実施出来ませんでした。また感染症対策の関係で舞台上や楽屋の人数を制限せねばならず、大規模作品の演奏が総じてキャンセルとなったことはとても残念です。是非ともアフターコロナの時期にこれらの企画に再チャレンジしたいと考えています。

一方で、この状況下でなしえることを関係者一同が

熟慮し、その中で今だからこそ成しえる公演づくりが出来たことは成果とも言えるでしょう。特に若い世代の指揮者、ソリスト、作曲家との協働が実現したことは、彼らにとってもオーケストラにとっても非常に有益でした。

これからも困難な時期にあっても芸術団体としての矜持を忘れず、限られた条件下においてもより良い音楽を求めてまいります。一方でコロナ禍の影響により大幅減となってしまった定期会員の呼び戻しは喫緊の課題であり、芸術性の追究とともに第一に取り組まなければならぬ問題でもあります。「芸術的成果」を追い求めることが困難な今だからこそ、東京定期演奏会を通じて虚心坦懐に芸術家として模索すべき道を着実に歩んでまいります。常に聴衆の「知的好奇心」をくすぐる日本フィルならでの東京定期演奏会を、一人でも多くの皆様にお聴き頂ければ、私たちにとってこれ以上の喜びはありません。

	No.	出演	プログラム
4月	719	中止	
5月	720	中止	
6月	721	中止	
7月	722	指揮:広上 淳一	バッハ:ブランデンブルク協奏曲第3番 ブラームス:交響曲第1番
9月	723	指揮:山田 和樹 ピアノ:沼沢 淑音 チェロ:横坂 源	ガーシュウィン:『アイ・ガット・リズム』変奏曲 ルグラン:チェロ協奏曲(日本初演) 五十嵐 琴未:櫻曉 for Japan Philharmonic Orchestra(世界初演) ラヴェル:バレエ音楽『マ・メール・ロワ』
10月	724	指揮:飯守 泰次郎 ピアノ:福間 洋太朗	シューベルト:交響曲第7番《未完成》 ブラームス:ピアノ協奏曲第1番
11月	725	指揮:小林 研一郎 ピアノ:清水 和音	ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 R=コルサコフ:交響組曲《シェエラザード》
12月	726	指揮:ダレル・アン ピアノ:吉見 友貴	イベル:ディヴェルティメント モーツアルト:ピアノ協奏曲第17番 ブラームス:交響曲第2番
1月	727	指揮:小林 研一郎 チェロ:水野 優也	チャイコフスキイ:ロココ風の主題による変奏曲 マーラー:交響曲第1番《巨人》
3月	728	指揮:カーチュン・ウォン オーボエ:杉原 由希子	ショスタコーヴィチ(バルシャイ編曲):室内交響曲 R.シュトラウス:オーボエ協奏曲 ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》

### 《横浜定期演奏会(横浜みなとみらいホール、神奈川県民ホール)》

2020年度横浜定期演奏会もまたコロナの影響により予定されていた企画が総崩れとなってしまったため、当初の目論見通りの成果を見出すのは困難です。目標として掲げていたレパートリーの構築や聴衆拡大の点は残念ながら達成することができませんでした。当面は代替出演者・曲目を設けることで可能な限り公演を実施してまいりましたが、入場制限が解除された後もクラシック音楽のファン層を元のように全てホールへ呼び戻すことは様々な要因で非常に困難なのが現実です。

しかしながら一方で海外アーティストの入国不可に伴

い、日本人、特に若手アーティストとの共演の機会が設けられたのは非常に良い機会でした。またこのような苦難の中、プレーヤー・団員そして聴き手の方々との間に、ある種の「連帯感」が芽生えたことも今後の大きな糧となるでしょう。

まずは関係各所とも連携しながら感染症対策には引き続き万全の体制を整え、アーティスト・聴き手の方々・その他関係者が安心して音楽を生み出し、楽しめる環境づくりを行います。また「アフターコロナ」を見据え、新しい日常における「横浜定期」の芸術的・社会的在り方を模索してまいります。

No.	出演	プログラム
4月	356 中止	
5月	357 中止	
6月	358 中止	
7月 (8/2)	359 指揮:西本 智実 ピアノ:菊池 洋子	モーツアルト:ピアノ協奏曲第21番 チャイコフスキイ:弦楽セレナーデ
9月	360 指揮:小林 研一郎 ピアノ:實川 風	モーツアルト:ピアノ協奏曲第23番 ベートーヴェン:交響曲第3番《英雄》
10月	361 指揮:角田 鋼亮 ヴァイオリン:辻 彩奈	J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番より《シャコンヌ》 J.S.バッハ:ヴァイオリン協奏曲第1、2番 ブラームス:交響曲第4番
11月	362 指揮:川瀬 賢太郎 ヴァイオリン:竹澤 恒子	ベートーヴェン:《レオノーレ》序曲第3番 ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 ベートーヴェン:交響曲第8番
12月	363 指揮:飯森範親 ソプラノ:中村恵里 アルト:富岡明子 テノール:城宏憲 バリトン:大西宇宙 合唱:東京音楽大学	ハイドン:交響曲第9番 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》
1月	364 指揮:永峰 大輔 ヴァイオリン:神尾 真由子	ピアソラ:ブエノスアイレスの四季 ベートーヴェン:交響曲第7番
3月	365 指揮:阪 哲朗 ピアノ:伊藤 恵	ドヴォルジャーク:歌劇《悪魔とカーチャ》序曲 ドヴォルジャーク:ピアノ協奏曲 ドヴォルジャーク:交響曲第9番《新世界より》

## その他の演奏会(首都圏)

幅広い聴衆育成とクラシック音楽の普及を目指し、多彩な公演事業を行いました。

桂冠名誉指揮者小林研一郎氏との「コバケン・ワールド」は、一部公演内容の変更はあったものの、無事好評のうちに全3公演を実施することができました。

「第九特別演奏会」においては、声楽が関係するためコロナ対策により一層の配慮を必要としました。実証テストやホールの意向なども鑑み、今回はアマチュア合唱団の出演を見送り、また舞台上の人数も制限(オケは最大12型、合唱は50名まで)する形で、何とか開催に持ち込み、毎年恒例の年末の第九をお客様にお楽しみいただきました。

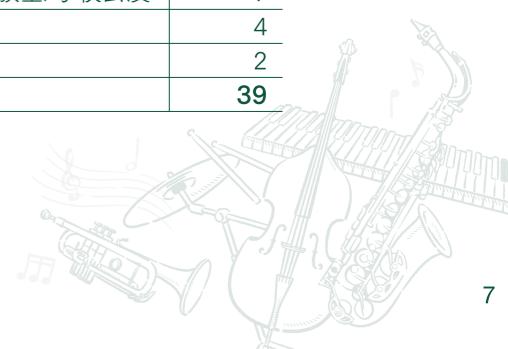
他にも「名曲コンサート」、「サンデーコンサート」、そして主に中止公演の代替企画として急遽設けられた「特別演奏会」等で、厳しい制限の中ではあるもののクラシック音楽の普及に取り組みました。

## 《共催公演・受託公演》

ホールとの連携による事業開催は、さいたま・相模原の両定期をはじめ、府中、杉並などで引き続き積極的に演奏会を行いました。中止や規模縮小といった厳しい現実に直面しながらも各自治体と連携し、時には公的な助成制度なども活用しながら事業継続に努めました。

## Data 2020年度オーケストラ公演の内訳

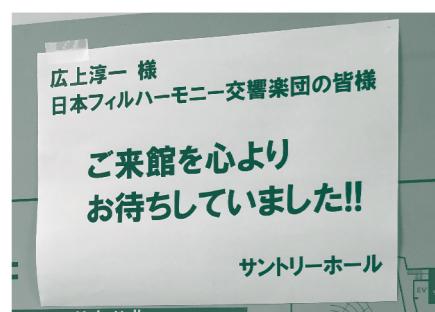
主催公演	公演数	入場者数(約)
東京定期演奏会	14	11,000
横浜定期演奏会	8	5,600
名曲コンサート	3	2,400
サンデーコンサート	2	1,000
コバケン・ワールド	3	2,700
その他	4	1,700
夏休みコンサート	2	400
「第九」特別演奏会	5	3,900
九州公演	3	1,700
特別演奏会	5	2,700
計	49	33,100
受託公演	公演数	
一般公演(共催含む)	26	
音楽教室/学校公演	7	
収録	4	
録音	2	
計	39	



～6月10日無観客公演での再開と、7月10日有観客公演の再開～

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言解除後の6月10日、2月19日の九州公演以来、はじめての公演となる「とっておきアフタヌーン・オンライン」を行いました。「とっておきアフタヌーン」は2015年からサントリーホールと共に開催するシリーズです。何もかもが不安な状況のなか、一足はやくスタートした海外の状況なども参考にしながら試行錯誤がはじまりました。何をすれば安心安全なのか、ホールとオーケストラが議論し協力しあいながら実現した初の無観客公演。舞台上のソーシャル・ディスタンスを保つため、弦楽器のみ21人の編成にし、奏者間1.5メートル、通常より大きく距離をとった配置で広上淳一マエストロの指揮で演奏を再開。3か月ぶりにホールに響く音に、すべてのそれまで抑圧されていたものが流れていくようでした。この公演はe+の配信で行われましたが、開演5分前の予鈴といつもながらのアナウンスの声に、ツイッター上での歓声がこちらまで聴こえてくるようでした。800人近い視聴者が胸躍らせてそれぞれの場所で日本フィルとサントリーホールの再出発を見守ってくださいました。「ホールも喜んでいる」という広上淳一マエストロの言葉にも、ネット上から多くの皆さまから反応をいただきました。

NHKをはじめ、テレビ、新聞社など集まった報道陣に対し「凍てついた氷が溶け、水が流れ出し、そのふもとに草花が芽吹き、昆虫が戯れる。そんな情景を想像しました」と平井理事長が目を潤ませて話していました。私たちがいかに音楽によって心を開かれて、健康な精神を育んでいくうえで必要としているものであったか、強く感じた瞬間でもありました。



2020年6月9日リハーサル。サントリーホールに行くのは1月東京定期以来。温かいメッセージがとても嬉しいです。日本フィルも心待ちにしていました。



2020年6月10日本番。バックステージでは楽員が距離を保ってきちんと整列して出番待っていました。

## 演奏会評

### 第723回 東京定期演奏会

縮尺版の特別演奏会を経て日本フィルが、正味2時間、休憩入りのコンサートを再開した。この日は同団の新シーズン開幕日。委嘱新作の初演も含め、色とりどりのプログラムを山田和樹が指揮した。

ラヴェルにまつわる作品を集めたこの日の演目、冒頭はガーシュウィンの「アイ・ガット・リズム」変奏曲だ。ガーシュウィンはラヴェルに弟子入りを志願したことがある。変奏曲ではピアノ(沼沢淑音)の打楽器的な側面と、管弦楽のパーカッション群とがよく呼応して、曲を前に進めしていく。

ルグランはラヴェルの孫世代にあたるフランスの作曲家で、映画音楽の泰斗。このたびはチエロ協奏曲の本邦初演となった。横坂源のチエロは一貫して、派手な独奏と言うより化粧下地のように働くが、それが終楽章の途中、ピアノとの二重奏になったところで突然、その魅力を開花させる。ポルタメントなどの滑らかな奏法が、ピアノのクリック音と鮮やかな対比を作る。五十嵐琴未の「櫻暁」は世界初演。管弦楽内のチエロ独奏が幹となり、そこに音色の花がほころぶ。古典的な楽器編成ながら、そのサウンドには不思議な手触りが混じる。書法の巧みさに舌を巻いた。

長短調性とその他の旋法の支点・力点・作用点がずれたり一致したりするラヴェルの「マ・メール・ロワ」。その絵を描くには弦楽器群のパート内精度がまだ足りない。一方、木管楽器群は音色作りと曲の推進とに気を吐いた。

(MOSTLY CLASSIC 2020年11月号より転載 澤谷 夏樹)



### 第727回 東京定期演奏会

今年最初の定期は桂冠名誉指揮者小林研一郎の登場。最初は何と楽員が皆立ち待ち。コソマスが現れると天覧相撲のように全員が一度にお辞儀とはこれまで神奈川フィルでしか見たことがなかったがコロナ禍の最中に来てくれた聴衆への感謝だろう。前半はチエロの新星水野優也のソロによるチャイコフスキーノココ風の主題による変奏曲イ長調で、噂に違わぬ素晴らしいチェリストだ。速いパッセージも難なくこなす技量といい、スッと伸びたノーブルで冴え渡った音色は最高だった。この日のソリストアンコールはバッハ／無伴奏組曲第1番よりプレリュード。後半はコバケン得意のマーラー交響曲第1番ニ長調「巨人」でコントラバス5の12型だったもののオケ共々気合い充実、全く物足りなくなかった。トランペットは最初からミュー付きで舞台上、第3楽章のコントラバスは普通にソロで、アッカで入った狂熱のフィナーレも最後は金管総立ちで爆発した。

(音楽現代2021年3月号より転載 浅岡 弘和)



### 第728回 東京定期演奏会

現在ニュルンベルク交響楽団の首席指揮者を務めるカーチュン・ウォンは、シンガポール出身でまだ30歳代半ば。マーラー国際指揮者コンクールで優勝した30歳以降、世界のメジャーオーケストラへの露出度が高い注目株だ。何より指揮棒を持たず、身体全体を使った指揮ぶりに目を奪われる。「室内交響曲」ではオーヴァーアクションぎみかと思いきや、スコアを精細に読み込んだ指示がそのまま表れているのがわかる。“やりすぎ”か否かは意見の分かれるところだが、弦楽器特有の奏法や表現の習性を熟知した指示ゆえに、弦楽器出身かと思いきや、さにあらず、吹奏楽出身ということに驚く。シュトラウス最晩年の傑作「オーボエ協奏曲」は、ソロに同オーケストラの杉原由希子(首席)が登場。ややこしい装飾的な主題や難易度の高いカデンツアなど飘々とこなし、同作品の明快さや叙情などの曲想のコントラストが際立ってくる。難曲を痛快に乗りこなす手腕と熟成した表現力は見事だ。《田園》ではウォンの指揮ぶりが全開。後半ではブンブン腕を振り回すパフォーマンスも出現したが、それが空振りに終わらず、同オーケストラの表現の活性化へと直結していたのは得難い。標題音楽としての描写性の緻密さをベースに、ウォン自身のやりたいことを的確に反映させるフィルの技術力と適応力の高さを強く余韻に残す演奏だった。ちなみに「室内交響曲」と《田園》は譜面なしで演奏。

(音楽の友2021年5月号より転載 斎藤 弘美)



# 社会に向けた取り組み ~エデュケーション・プログラム&リージョナル・アクティビティ~

日本フィルならではのきめ細かい、温かさを持った教育プログラム(エデュケーション・プログラム)と、地域を音楽で豊かにし、課題解決のお手伝いをする活動(リージョナル・アクティビティ)は、ますますその需要が高まっていると感じています。2020年度、新型コロナウイルスの影響は日本フィルの演奏会のみならず、社会的な活動にも大きな影響を及ぼしました。4月から6月までのほぼすべての事業が中止・延期となり、7月以降も通常通りの活動が難しい状況が続き、多くのコミュニケーション機会が毀損されたことは間違ひありません。そうした中ではありますが、感染症対策を講じて実施した事業も少なくありません。さらには、コロナ禍ならではの新しい方法や取り組みにも挑戦することができました。

## 1 コロナ禍により中止となった事業

緊急事態宣言中はもとより、解除後も先の見えないウイルスとの戦いが続く中、多くの事業が中止となりました。ともに46年目を迎える夏休みコンサートと2月恒例の九州公演(全県でのオーケストラ公演)はそれぞれファミリー向けの公演、地域間移動を伴うという特性上、計画通りの実施を断念せざるを得ませんでした。しかし、なんとか次年度へつなげようと、計画を縮小して代替企画を実施しました。杉並区で行っている「60歳からの楽器教室」は高齢者対象という特性上、



1日だけの夏休みコンサート(2020年8月23日)

## 2 感染症対策を講じて実施した事業

46年にわたり家族にオーケストラとの出会いを提供している「夏休みコンサート」は、感染状況への危惧から、当初予定された17公演をいずれも中止しましたが、「1日だけの夏休みコンサート」を開催しました。市松模様の客席とし、バレエや会場一体となって歌うコーナーをとりやめ、ロビーでのイベントも中止するなど感染症対策を徹底しました。中止となった「東北の夢プロジェクト」との連携で東北の子どもたちが映像で出演、福島と岩手ではライブビューイングも行いました。

市民ボランティアによる実行委員会とともに毎年開催している九州公演については当初計画の規模を変更し、小規模オーケストラ編成による2公演(佐賀、唐津)を実施しました。春休みオーケストラ探検(エデュケーション・フェスティバル)は、対象年齢をマスクの着用が可能な4歳からに限定し、楽器体験などのイベント



春休みオーケストラ探検(2021年3月28日)

出演している杉並区主催の敬老会は中止となりましたが、区内の風景に演奏を織り込んだ映像を区内の諸施設に配布しました。杉並区の提携自治体である南伊豆町への訪問コンサートは、杉並区役所内からの映像配



コロナ収束を願うコンサート  
(全日程 2020年6月14日、6月15日、6月16日、6月18日、6月19日)

## 3 コロナ禍に対応した新たな取り組み

通常の活動が制限を受ける中、オンライン技術や映像を活用した取り組みへの需要が急速に高まり、積極的に実施しました。7月からテレビマンユニオンと提携し、コンサートのライブ配信・アーカイブ配信をスタートし、その発展型としてライブビューイング(ライブ配信をホールなどで鑑賞するイベント)を「1日だけの夏休みコンサート」では東北地方の宮古市と南相馬市で、「特別演奏会with九州」では九州の大分市、長崎市、大牟田市で実施し、遠隔地とのコミュニケーションに新しい可能性を拓きました。特に、「特別演奏会with九州」では東京の会場から九州に向けたメッセージも送るなど、コロナ禍ならではの“つながり”を試みました。また、オンライン技術を使った遠隔地への楽器クリニックを、福島県のFTVジュニアオーケストラに向けて開催したほか、宇部市内中学校へのクリニックを延べ80回にわたり実施。宇部市内の病院では、演奏を収録したDVDの上演を行いました。コミュニケーション・ディレクターのマイケル・スペンサーと行っている音楽ワークショップも杉並区の井草特別支援学校と女子美術大学ヒーリングアート表現領域の学生を対象にオンラインとリアルの複合により実施し、海外と同期する新しいイベント開催の可能性を開拓しました。

その他、「さいたま国際芸術祭」では詩と室内楽によ



2月22日「特別演奏会with九州」  
ライブビューイング(大分)



楽員有志による「感謝を伝えるプレコンサート」  
2020年11月29日(写真)、2021年3月5日



落合陽一×日本フィル プロジェクトVOL.4  
《双生する音楽会》(2020年10月13日)  
(藤倉大:Longing from afar (2020))

信という形で実施。また、小中学校や区内施設での出張音楽教室・出張コンサート、区民へのリハーサル公開、区役所ロビーコンサートなど、区との友好提携に基づく事業も対策を講じて可能な限り行いました。



杉並区役所ロビーコンサート 写真:2020年7月13日  
(全日程 2020年7月13日、9月18日、12月7日、2021年1月25日)

る企画を行い、デジタルアート競技とクラシックの共演という新たな表現にも挑戦しました。これまで行ってきた演奏会場でのプレトーク、アフタートーク、作品の時代背景や他の芸術との関連を紹介する企画、楽員との交流なども中断されましたが、一方では楽員有志による「感謝を伝えるプレコンサート」や、正指揮者山田和樹との対談をYouTubeで配信するなど新たな取り組みも実施しました。

「落合陽一×日本フィル プロジェクトVOL.4《双生する音楽会》」では、コロナ禍におけるオーケストラの在り方を模索し、「ライブ」と「配信」それぞれ別の魅力を持つつつ主従関係ではない「異なる2つの音楽会」を“双生”するというコンセプトの公演を実施。ライブでは音響の魅力をそのまま楽しみ、オンライン配信ではライブARを創出するという「異なる2つの演出」での価値の創出を目指しました。コロナ禍で生まれた「藤倉大:Longing from afar (2020)」では全世界から15人のオーケストラ・プレイヤーがボランティアでライブ映像参加、さらにビジュアル演出も“共演”するという壮大な趣向となり、「コロナ禍のオーケストラ」を象徴するパフォーマンスを送り出しました。同公演のためのクラウドファンディングでは700万円を超える支援を得ることができました。

# 「被災地に音楽を」東日本大震災への被災地支援活動

2011年4月から開始した東日本大震災被災地への音楽による支援活動「被災地に音楽を」は、震災から10年目となる2021年1月に300回を数えました。この活動は震災直後、音楽による被災者への「心の癒し」を目的に始めたものですが、時間の経過により被災地の状況が変化するに従ってその目的も変化を続け、より深いコミュニケーションの機会となるべく取り組んでいます。特にここ数年は、各地で築き上げてきた強いつながりを活かし、地域の課題解決や活性化の一助となることを目指しています。沿岸部での活動を継続する傍ら、2019年からは被災地のニーズを踏まえ、新たな文化創造と地域を超えた交流の場づくりを目指した「東北の夢プロジェクト」を内陸部で始動、文化活動に励む子どもたちを支援することで、その夢と未来を応援しています。2019年8月には岩手県盛岡市で「楽しいオーケストラin岩手」を実施し沿岸部から二団体を招いてオーケストラ公演を開催しました。

2020年度は、これらの東北地方での活動についても新型コロナウイルスにより大きな制約を受けました。当初計画された沿岸部訪問のうち、岩手県（宮古市、大船渡市）、宮城県（山元町、石巻市）、福島県（南相馬市）については感染症拡大への懸念からいずれも中止となり、実施の見通しが立たない状況となりました。また2年目となる「東北の夢プロジェクト」を文化庁「戦略的芸術文化創造推進事業」の採択により



「1日だけの夏休みコンサート」ライブビューイング  
(宮古市民文化会館)



宮古高校の吹奏楽部とのオンライン対話イベント



「被災地に音楽を」300回宮古高校対話イベント



2021年3月オンライン報告会

開催する予定でしたが、岩手県・福島県で子どもたちを共演者に招いてのオーケストラ公演はいずれも中止。各地への事前・事後訪問も断念しました。

そのような状況でしたが、コロナ禍における画期的な取り組みとして6月に宮古市民文化会館との共催により、宮古高校の吹奏楽部と日本フィルのメンバーによるオンラインによる対話イベントを初開催。コロナ禍において音楽や地域とどうかかわるか、そしてこれからの社会について真剣に語り合う稀な機会となりました。また8月の「1日だけの夏休みコンサートfeat.東北の夢プロジェクト」では、宮古・大船渡・南相馬の子どもたちの文化芸術活動の様子を記録した映像を現地の協力を得て収録し、東京の演奏会の中で紹介しました。演奏会は宮古市、南相馬市の文化施設および配信を行っているテレビマンユニオンの協力により各地でライブビューイングを実施しました。緊急事態宣言が解除された後、感染症対策を十分に取ったうえで10月には福島県三春町・葛尾村への訪問、2021年1月には盛岡市で宮古高校の生徒を迎えて記念すべき300回目の事業を実施しました。

また福島県の補助を受けて、FTVジュニアオーケストラへのオンライン楽器クリニックも開催しました。文化庁の委託事業の一環として慶應義塾大学SFC研究室による3年目の調査研究を実施し、南相馬市での活動の影響を長期的に捉え、日本フィルの活動の成果や果たしている役割について知見を得るための研究を行いました。



## Japan Philharmonic Orchestra Recordings

「あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ」を活動の指針として、社会的活動を含む多くの事業を行っている日本フィルは、コロナ禍でライブの演奏会へのご来場が困難を感じる方にも音楽をお楽しみいただく機会を増やすため、楽団創立65周年を迎える2021年、音源の活用強化を目的として自主レーベルを設立いたしました。日本フィルの歴史に触れる「温故知新」の配信にご期待ください！

### ストリーミング聴取方法

PCまたはスマートフォンでお聴きください。  
オーディオシステムにつないでもお楽しみいただけます。

### 01

日本フィルホームページ「グッズ・CD」▶「JPO RECORDINGS」のページから各曲の「購入」リンクに進むと、ストリーミングサービスの一覧が表示されます。お好きなサイトを選んでお聴きください。

[https://japanphil.or.jp/goods/cd\\_dvd](https://japanphil.or.jp/goods/cd_dvd)



### 02

主な配信サイトでは、「日本フィルハーモニー交響楽団」のリンクから曲を選んでお聴きいただけます。

主な配信サイト  
(ストリーミング)

Apple Music、Spotify、Amazon Music、YouTube Music、Deezer（ハイレゾ対応サービスあり、「尾高惇忠作品集」以外）LINE MUSIC、AWA、dヒッツ他



### ダウンロード販売サイト（尾高惇忠作品集のみ）

ダウンロード（ハイレゾ）

e-onkyo music、mora、レコチョク

ダウンロード（通常音質）

iTunes Store、Amazon digital、mora、レコチョク

## Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

### クラシカルミュージック

<https://members.tvuch.com/>



Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。

これまでテレビマンユニオンチャンネル(tvuch.com)では、クラシック音楽を気軽に楽しめるように、コンサート映像を10分前後に短く抜粋して無料でお届けしてきました。Member's TVU CHANNEL(メンバーズ テレビマンユニオンチャンネル)では、より本格的に、コンサート全体を有料で配信しています。日本フィルの配信一覧は[こちら](https://japanphil.or.jp/orchestra/news/24350)。  
<https://japanphil.or.jp/orchestra/news/24350>  
ご登録・ご購入の上、お楽しみください。



NEW 感動したその演奏会を、公演には行けなかった大切な人にプレゼントできるようになりました！

まずはID登録！

メールアドレスと  
パスワードのみで簡単！

- メールアドレスとパスワードを登録し、届いたメールからURLをクリックしたのち、ご希望の公演を選び、クレジットカード(VISA,MASTER,JCB,Diners Club,Discover)でお支払いください。
- Internet Explorerは対応しておりません。chrome, Microsoft Edge, safari, firefox等をご利用ください。
- 視聴する際は、ログインし、該当公演またはマイプレイリストからご覧ください。
- 配信当日は、配信の15分前から映像が切り替わる予定です。
- ※通信にかかる費用はお客様のご負担となります。Wi-Fi環境での視聴をお勧めします。

# Playback プレイバック



PHOTO 1 2020年1月以来の横浜定期演奏会を8月に昼と夜の2公演という形で開催。18時の回では、カーテンコールの際「ラボー」の応援幕をお客様よりプレゼントしていただきました。



PHOTO 2 2020年の夏休みコンサートは中止となりましたが、「1日だけの夏休みコンサート」を開催。例年通りの懇談会やサイン会ができないため、角田鋼亮さんと江原陽子さんはステージ上でお客様をお見送り。



PHOTO 3 新シーズン開幕となる9月東京定期演奏会は、当初のプログラムから変更がありましたが、正指揮者山田和樹の指揮による世界初演あり、日本初演ありの盛り沢山な内容でした。



PHOTO 4 11月東京定期演奏会は、桂冠名誉指揮者小林研一郎と清水和音さんをお迎えし、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番《皇帝》とリムスキーコルサコフの《シェエラザード》をお届けしました。



PHOTO 5 2020年の第九特別演奏会は、様々な制限があるなか合唱もディスタンスをとり、マスク着用という異例の状況ではありましたが、お楽しみいただくことができました。



PHOTO 6 2021年1月は日本フィル杉並スペシャル・冬。ショパンのピアノ協奏曲第2番＆1番を演奏された小山実稚恵さんと、指揮の垣内悠希さん＆コンサートマスターの田野倉雅秋の豪華なスリーショット。



PHOTO 7 2月18日特別演奏会は、高関健さんと藤田真央さんと一緒に、オール・ベートーヴェン・プログラムをお届けしました。



PHOTO 8 2月22日は「特別演奏会with九州」。中止となってしまった九州公演の灯を消してはならない、と「東京」で開催することになった第46回九州公演。藤岡幸夫さんと、九州公演に出演予定だった藤田真央さんでMCも挟みつつお楽しみいただきました。



PHOTO 9 3月東京定期演奏会は、公演中止となってしまった2020年3月東京定期で一緒にする予定だったカーチュン・ウォンさんとようやく一緒にすることができました。

PHOTO 10 2020年は楽員ソリストが活躍した1年でした。



9月17日特別演奏会より伊藤寛隆(クラリネット)、真鍋恵子(フルート)、松井久子(ハープ)、杉原由希子(オーボエ)



11月8日コバケン・ワールドより鈴木一志(ファゴット)



3月5日、6日東京定期演奏会より杉原由希子(オーボエ)

# ご支援

## ご支援のお礼

2020年度はコロナ禍の影響で、「楽団存続の危機」に直面した一年でした。

この間、皆さまから絶えず励ましのお言葉と厚いお力添えを頂戴いたしましたことに、心より御礼申し上げます。不安定な状況が続く中でも多くの皆様に演奏会へお越し頂いておりますことも、日々の活動の励みとなっております。

日本フィルは昨年2月末、突然の公演自粛要請からおよそ4か月間一切の活動を停止し、活動再開以降も感染拡大防止対策などの影響が続いた結果、2020年度だけで72公演が中止となり、一時は約6億円の収入が失われ、年間収支は4億円近い赤字見込みとなりました。給与カット等の自助努力だけでは回復には遠く及ばず、「存続の危機」といえる状態に追い込まれ、皆様に事業継続のためのご支援のお願いを続けてまいりました。

この間、可能な限り演奏会を実施しながら、国の補助金・助成金獲得に努め、杉並区等の自治体からの支援、稻盛財団をはじめとする民間財団の助成、金融機関のご支援もいただきました。何より大きな力となりましたが、全国の皆様から頂戴したご寄付です。その額は一億円を超えるものとなり、「何としても存続してほしい」という強いメッセージとともに日本フィルを力強く支えてくださいました。涙が出るほどにありがたく、改めて衷心より御礼申し上げます。

こうしたご支援のお陰を持ちまして、2020年度決算は奇跡的に赤字を回避できる見通しとなりました。これで一見、存続の危機を脱したように見えますが、しかし変異株の拡大などコロナ禍の収束の目途が見えず、完全な形での活動には未だ戻れない中、演奏収入を主たる財源とする日本フィルにとっては2021年度も厳しい状況が続くと予測せざるをえません。

日本フィルは皆様からのお力を糧に、芸術性と社会性を兼ね備えた音楽団体として、新しい時代の社会の要請にしっかりと応えられるよう、自らの変革を行っていく所存でございます。どうか引き続き皆様には温かくお見守りいただくとともに、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## Data 会員等 (2021年3月末現在)

定期会員	
東京定期会員(金・土)	1,443席
横浜定期会員	858席
法人会員	
協賛企業	24社
特別会員	223社
九州特別会員	107社
個人会員	
パトロネージュ	323名
日本フィル協会	1,078名
サポートーズクラブ	894名

## ＜個人のご支援・ご寄付＞

「日本フィルハーモニー協会」「日本フィル・パトロネージュ(個人寄付会員)」「日本フィル・サポートーズクラブ」の各々へ多数の新規入会をいただき、また多くの既会員の方々より会費を増額・増口いただきました。一方、全国から”日本フィルがんばれ”的熱いご声援とともに、ご寄付が続々と寄せられました。やむなく中止とした公演のチケット購入者の多くの方々からはチケット金額を日本フィルへご寄付いただきました。皆様から頂戴したご支援は御蔭様で総額1億5千万円近くとなりました。

2020年度ご支援総計 192,420,861円

※パトロネージュ、日本フィル協会維持会員の皆様のご芳名はp20-21に掲載致しました。

## ＜企業・団体ご支援＞

企業法人・団体の皆様からは「特別会員」「九州特別会員」(いずれも寄付会員)をはじめ、継続的なご寄付をいただきました。またコロナ禍により法人自ら厳しい環境にありながら、東京定期演奏会をはじめとする主催演奏会への協賛(冠協賛、広告協賛)をいただきました。加えましてコロナ特別寄付金とし多額のご支援いただきました。

### 2020年度 協賛企業ご芳名

エレコム株式会社／鹿島建設株式会社／社会医療法人 河北医療財団 河北総合病院／株式会社京王設備サービス／京王電鉄株式会社／株式会社興建社／山九株式会社／三機工業株式会社／大栄不動産株式会社／株式会社チャイルド社／千代田化工建設株式会社／株式会社ティーガイア／株式会社日清製粉グループ本社／根本特殊化学株式会社／ハウス食品グループ本社株式会社／非破壊検査株式会社／丸美屋食品工業株式会社／三井不動産株式会社／三菱製紙株式会社／三菱UFJニコス株式会社／武蔵商事株式会社／株式会社ヤクルト本社／株式会社リヨーサン／ローム株式会社

※ご寄付を賜りました企業ご芳名はp18-19に掲載致しました。

2020年度公的助成総計 308,026,164円

2020年度民間助成総計 45,084,500円

## ＜補助金・助成金事業委託/共催＞

2020年度も「文化庁文化芸術振興費補助金(文化芸術振興活動活性化事業)」対象団体として採択され、東京定期演奏会、横浜定期演奏会に補助金をいただきました。“文化の危機”に際して国(文化庁)も三次にわたり合計すると、年度予算額とほぼ匹敵する巨額の補正予算を確保していただきました。

文化庁からはすでに採択を受けていた補助金等の柔軟な運用に加え、「J-LODlive補助金(経済産業省との連携事業)」「収益力強化事業(2件)」「文化芸術の継続支援事業」の新規支援を得ました。このほか厚生労働省からは「雇用調整助成金」等、東京都からは「アートにエールを(ステージ型)」「テレワーク助成金(東京しごと財団)」の各助成を得ました。

民間財団からも内定助成事業の柔軟な運用に加え、稻盛財団、ソニー音楽財団、また日本オーケストラ連盟を通じて三菱UFJファイナンシャルグループ、三井住友ファイナンシャルグループ、東京海上日動火災保険株式会社からご支援をいただきました。

### 2020年度 補助・助成ご芳名

＜公的補助＞独立行政法人日本芸術文化振興会「文化庁文化芸術振興費補助金(文化芸術振興活動活性化事業)」

文化庁「芸術・音楽堂等活性化事業(劇場・音楽堂等間ネットワーク構築支援事業)」

文化庁(文化芸術活動の継続支援事業)

東京しごと財団(事業継続緊急対策(テレワーク))

東京都「アートにエールを(ステージ型)」

経済産業省・文化庁「J-LODlive」

＜民間助成＞公益財団法人朝日新聞文化財団／公益財団法人アフィニス文化財団／公益財団法人稻盛財団／

公益財団法人花王芸術・科学財団／ソニー音楽財団・子ども音楽基金／公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団／

公益財団法人ロームミュージック ファンデーション(50音順)

＜事業委託＞文化庁「文化芸術による子供の育成事業」／文化庁「戦略的芸術文化創造推進事業」／

文化庁「収益力強化事業」(凸版印刷委託事業)／文化庁「収益力強化事業・公募3」

## ＜物品販売・音源販売＞

### ● オリジナルCD(公益事業)、グッズ(収益事業)

2020年度グッズ・音源販売収入 11,564,833円

コンサート会場に来られない方々にも演奏を届けるために、CD等の録音物の制作と販売、普及事業を行いました。2020年度は会場での物品販売コーナーの設置を取りやめ、オンライン・電話受注のみでの販売となつたため、今年度の売上は半減することとなりました。

しかし、これまでの音源活用準備・整理の成果をもとに文化庁「収益力強化事業」の採択を得て、過去の音源を中心としたインターネットを通しての配信事業を開始、配信による新たな収益の可能性を得ました。

### ● 2020年度の制作アイテム

演奏会のライブ録音CD(日本フィル・レベル)1点、オリジナルTシャツ、オリジナルカレンダー。自主レベル JAPAN PHILHARMONIC RECORDINGSを設立して配信事業を開始。配信7タイトル(8曲)。 P13

### ● 音源活用

左記の配信にかかる権利処理を簡易化、円滑化するために、文化庁「収益力強化事業」の事業の一環として「著作権管理システム」データベースをイッセイ株式会社への委託により構築しました。

# ご寄付いただいた企業のみなさま

[ 東京特別会員、九州特別会員(一部個人含む)、活動へのご寄付他 ]

(50音順・敬称略)

株式会社IDホールディングス  
株式会社アイレ  
アイング株式会社  
赤坂維新號  
アサヒグループホールディングス株式会社  
あすか製薬株式会社  
株式会社アトックス  
株式会社アドベジネスコンサルタント  
株式会社鮎川電工  
株式会社有明新報社  
株式会社アール&キャリア  
安心な健やか地域づくりをすすめる会  
イーソリューションズ株式会社  
株式会社泉商会  
株式会社泉放送制作  
有限会社和泉屋  
磯野不動産株式会社  
稻員興産株式会社  
稻畑産業株式会社  
井上歯科医院  
今村正人  
株式会社インフォマート  
有限会社魚半  
株式会社内田洋行  
内野株式会社  
宇部エクシモ株式会社  
宇部興産株式会社  
株式会社AIT  
株式会社エイブル&パートナーズ  
医療法人江上耳鼻咽喉科医院  
有限会社江口栄商店  
株式会社エヌエフホールディングス  
NGB株式会社  
エヌビーエス株式会社  
エムエスティ保険サービス株式会社  
株式会社エムジー・ケイ  
株式会社エルイーテック  
税理士法人エル・ビーエー  
エレコム株式会社  
医療法人社団桜珠会可也病院  
株式会社大分銀行  
大分県医療生活協同組合  
大口酒造株式会社  
大隅ミート産業株式会社  
株式会社大場造園  
株式会社オープンハウス  
株式会社岡三証券グループ  
株式会社お菓子の香梅  
押渕クリニック  
小田急電鉄株式会社  
小野塾  
公益財団法人才リックス宮内財団  
株式会社オンワードホールディングス  
花王株式会社  
株式会社カカクコム

公益社団法人鹿児島共済会南風病院  
株式会社鹿児島銀行  
鹿児島相互信用金庫  
鹿島建設株式会社  
鹿島建物総合管理株式会社  
鹿島道路株式会社  
かどや製油株式会社郎  
株式会社カナック企画  
株式会社ガモウ  
株式会社カレントセラー  
社会医療法人河北医療財団  
川北電気工業株式会社  
川谷医院  
看公税理士法人  
医療法人起愛会宇佐病院  
医療法人起生会林内科胃腸科病院  
北野建設株式会社  
キッコーマン株式会社  
キヤノン株式会社  
キューピー株式会社  
医療法人共生会びろうの樹脳神経外科  
株式会社共同  
株式会社共立メディカル  
協和キリン株式会社  
株式会社協和日成  
キリンホールディングス株式会社  
税理士法人近代經營  
株式会社きんでん  
熊本朝日放送株式会社  
学校法人熊本壱次塾学園  
株式会社熊本日日新聞社  
株式会社熊本放送  
医療法人九曜会こが内科こどもクリニック  
株式会社九曜社  
久留米第一法律事務所  
グリーン・サポート・システムズ株式会社  
グローブ・シップ株式会社  
医療法人信和会  
株式会社京王設備サービス  
京王電鉄株式会社  
京浜急行電鉄株式会社  
医療法人敬和会大分岡病院  
株式会社小泉  
晃榮住宅株式会社  
医療法人弘恵会ヨコクラ病院  
株式会社興建社  
コーヤイ株式会社  
株式会社講談社  
生活協同組合コープかごしま  
生活協同組合コープみやざき  
医療法人五秀会未永産婦人科麻酔科  
医療法人こだま小児科  
株式会社コバヤシ  
コンパッソ税理士法人  
株式会社コトブキ  
株式会社コンサートサービス

株式会社佐賀銀行  
薩摩酒造株式会社  
佐藤製薬株式会社  
三機工業株式会社  
山九株式会社  
三京物産株式会社  
サントリーホールディングス株式会社  
三洋貿易株式会社  
医療法人CLSすがはら菅原病院  
ジーエルサイエンス株式会社  
ジェネロ株式会社  
株式会社慈恵実業  
宍倉涉税理士事務所  
自然庵  
税理士法人柴田 & パートナーズ  
澁谷工業株式会社  
株式会社じほう  
清水建設株式会社  
シャボン玉石けん株式会社  
株式会社集英社  
医療法人秀康会ましきクリニック耳鼻咽喉科  
医療法人社団寿量会  
医療法人春回会井上病院  
松竹株式会社  
浄土真宗本願寺派無量山西導寺  
医療法人松嶺会河畔病院  
公益財団法人昭和会今給黎総合病院  
昭和電工ガスプロダクト株式会社  
昭和電工株式会社  
ショーボンドホールディングス株式会社  
医療法人社団仁愛会中村医院  
株式会社熊本放送  
真宗大谷派妙行寺  
株式会社進藤木材店  
新菱冷熱工業株式会社  
株式会社ジャックス  
株式会社ジンテック  
医療法人信和会  
株式会社杉江商店  
杉山商事株式会社  
住友商事株式会社  
住友ペークライト株式会社  
株式会社スプリックス  
株式会社西武ホールディングス  
聖マリア病院臨床研究教育学部  
医療法人誠和会河野産婦人科医院  
株式会社セフティハウス  
全国保証株式会社  
税理士法人創研  
株式会社総本家黒田家  
第一倉庫株式会社  
株式会社泰秀  
大正製薬株式会社  
大成建設株式会社  
大成ロテック株式会社  
大同生命保険株式会社

大日本除虫菊株式会社  
大日本塗料株式会社  
大日本塗料株式会社福岡営業所  
大隆工業株式会社  
大和製罐株式会社  
高砂熱学工業株式会社  
田川信用金庫  
有限会社但馬屋老舗  
立花税務会計事務所  
田中陸運株式会社  
千歳コーポレーション株式会社  
千代田化工建設株式会社  
株式会社千代田テクノル  
塚本總業株式会社  
公認会計士津田久子事務所  
株式会社鶴屋百貨店  
ディアンドデパートメント株式会社  
株式会社ティーガイア  
学校法人帝京大学  
THK株式会社  
TIS株式会社  
手島薬品株式会社  
株式会社照国計算センター  
株式会社テレビ朝日  
株式会社テレビくまもと  
株式会社電通  
東亜建設工業株式会社  
株式会社東急コミュニケーションズ  
東京海上日動火災保険株式会社  
東急株式会社  
学校法人東京音楽大学  
株式会社東京交通会館  
東京都杉並区  
東京美装興業株式会社  
医療法人藤溪会藤野医院  
医療法人唐虹会虹と海のホスピタル  
医療法人同心会古賀総合病院  
株式会社東北新社  
東洋熱工業株式会社  
戸田建設株式会社  
トヨタカローラ鹿児島株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
株式会社トヨタレンタリース鹿児島  
株式会社永田音響設計  
株式会社永谷園ホールディングス  
医療法人なごみ会酒井医院  
株式会社ナミキ  
南洲税理士法人  
日新製鋼株式会社  
日総工産株式会社  
日鉄興和不動産株式会社  
株式会社ニフコ  
日本商工株式会社  
日本精工株式会社  
日本製鉄株式会社  
日本電子株式会社門  
日本パーカライジング株式会社  
株式会社日本マイクロニクス  
株式会社ネイチャーズウェイ  
根本特殊化学株式会社芳  
野村ホールディングス株式会社

パイオニア株式会社  
ハウス食品グループ本社株式会社  
株式会社白雲社  
株式会社博報堂  
はざま神経内科・内科医院  
ハナマルキ株式会社  
公益団体法人パブリックリソース財団  
azbilみつばち俱楽部  
パンパシフィック・カッパー株式会社  
阪和興業株式会社  
東日本住宅株式会社  
東義秀  
株式会社肥後銀行  
非破壊検査株式会社  
ひびき・パース・アドバイザーズ  
税理士法人ひまわりFC  
ひまわり音楽ホール  
平田宗興  
医療法人深川皮膚科  
公益社団法人福岡医療団  
社団福祉法人福岡コロニー  
株式会社福岡ハイヤーサービス  
富国生命保険相互会社  
富士急行株式会社  
富士テレコム株式会社  
一般財団法人 藤本育英財団  
双葉電子工業株式会社  
古内亀治朗商店株式会社  
古河産業株式会社  
古川康  
フンドーキン醤油株式会社  
株式会社別大興産  
合同会社ベルファーマシー  
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス  
保険ネットワーク有限会社  
ホッカンホールディングス株式会社  
株式会社ボニー・キャニオン  
ホンダカーズ佐賀株式会社  
本田技研工業株式会社  
本坊松栄株式会社  
前田憲徳  
松本健司税理士事務所  
マネックスグループ株式会社  
株式会社丸井グループ  
株式会社丸の内よろず  
丸美屋食品工業株式会社  
三井情報株式会社  
株式会社三井住友銀行  
三井製糖株式会社  
三井石油開発株式会社  
三井倉庫ホールディングス株式会社  
三井物産株式会社  
三井物産スチール株式会社  
三井不動産株式会社  
株式会社三越伊勢丹アームファシリティーズ  
株式会社三越伊勢丹ホールディングス  
三菱HCキャピタル株式会社  
三菱オートリース株式会社  
三菱ガス化学株式会社  
三菱地所株式会社  
三菱自動車工業株式会社

三菱重工業株式会社  
三菱倉庫株式会社  
株式会社三菱UFJ銀行  
三菱UFJ国際役信株式会社  
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
三菱UFJニコス株式会社  
株式会社南日本放送  
株式会社ミヤデン  
医療法人産科・婦人科 宮原クリニック  
医療法人泯江堂油山病院  
社会福祉法人明激会  
医療法人明徳会佐藤第一病院  
武蔵商事株式会社  
明治安田生命保険相互会社  
株式会社明和住販流通センター  
メッドサポートシステムズ株式会社  
株式会社メディアグラフィックス  
株式会社メルコホールディングス  
森社会保険労務士事務所  
森永製菓株式会社  
株式会社ヤクルト本社  
八代綜合法律事務所  
山崎製パン株式会社  
ヤマトホールディングス株式会社  
株式会社UACJ  
ユウキフーズシステム株式会社  
医療法人友和会  
株式会社夢織  
横河電機株式会社  
米持建設株式会社  
株式会社リガク  
株式会社リョーサン  
株式会社Rings  
株式会社リンレイ  
株式会社LABCO  
株式会社LEOC  
社会福祉法人麗風会  
税理士法人れいめい  
ローム株式会社  
社会福祉法人若楠  
渡辺医院

他 匿名

# パトロネージュ[個人寄付]会員ご芳名

(2021年6月15日現在・50音順・敬称略)

会田 雅美 東京都	大石 直輝 山梨県	木村 恵司 神奈川県	鈴木 祐二 東京都	中島 奈穂 東京都	藤原 真也 東京都	峯島 茂之 東京都	矢倉 俊紀 東京都	油井 直次 東京都	M.K.
浅野 純次 埼玉県	大倉 祐子 東京都	草刈 隆郎 東京都	住野 公一 東京都	中島美知子 東京都	古瀬 明弘 東京都	宮川 輝男 千葉県	安富 康男 東京都	横川 直 東京都	匿名51名
朝吹 英和 東京都	大島 剛 埼玉県	久野 哲男 千葉県	関 兼英 東京都	長瀬 雅則 東京都	星 桂太朗 東京都	宮本 裕二 兵庫県	八代 元行 東京都	吉川 美保 東京都	
厚田 理郎 東京都	大竹 広明 神奈川県	熊谷 朝子 東京都	妹尾 絲子 東京都	仲田 喜義 東京都	本田 博 熊本県	武藤 雄二 埼玉県	柳田 淑 神奈川県	吉川 隆一 東京都	
阿部 俊彰 神奈川県	太田 五郎 神奈川県	倉谷 宏樹 東京都	仙石 通泰 東京都	中西 泉 東京都	前田 耿史 神奈川県	村上 純子 埼玉県	谷野 剛 東京都	吉谷恵美子 神奈川県	
荒井 昇 東京都	太田 達男 千葉県	栗原真知子 埼玉県	宗 神子 大分県	永野 明宏 千葉県	前田圭一郎 千葉県	村上 洋美 東京都	山上 典彦 東京都	吉村 匠則 東京都	
荒木 秀隆 東京都	大塚 宣夫 東京都	黒田 真一 東京都	染野 郁郎 東京都	永野 琢夫 東京都	牧野 澄夫 東京都	村上 真澄 千葉県	山口 達之 長崎県	渡辺 敦郎 東京都	
荒蒔康一郎 東京都	大藤 裕康 埼玉県	畔柳 信雄 東京都	染野 宗子 東京都	中村 公一 東京都	正木 信汎 東京都	村上 泰郎 東京都	山口みどり 東京都	渡辺 和子 東京都	
有江 純子 神奈川県	大森 京太 東京都	甲賀 一宏 埼玉県	高井 延幸 神奈川県	中村 稔良 東京都	増田 文彦 神奈川県	持田 泰 東京都	山越 章弘 長野県	渡邊規久雄 東京都	
有手 千麻 埼玉県	岡本 晋 東京都	好士崎稔子 東京都	高木 宏忠 東京都	中本 逸郎 東京都	松尾 東京都	元永 徹司 神奈川県	山下 芳広 北海道	渡邊 直 東京都	
飯田 桂子 東京都	岡田 雅史 神奈川県	胡口 靖夫 東京都	高須 幸雄 東京都	那須 雄治 東京都	松田 譲 東京都	森 稔樹 神奈川県	山田 宏己 東京都	渡邊 裕志 山口県	
飯田 恵司 東京都	奥林 群司 東京都	児玉 敏宏 東京都	高田 信子 東京都	棗 年紀・綾 東京都	松本 信義 東京都	森 宏之 神奈川県	山村 隆 東京都	渡辺 康匡 東京都	
飯田 憲 東京都	奥山 敦子 東京都	児玉 玲子 東京都	高橋 信喜 東京都	新倉 啓介 東京都	三木恵美子 神奈川県	八木 一郎 山梨県	山村 美絵 東京都	鰐渕美恵子 東京都	
家近 茂 東京都	尾澤 弘久 神奈川県	小林こずえ 東京都	武岡 哲郎 東京都	西澤 豊 東京都	三木 繁光 東京都	矢口 敏和 千葉県	山本 高穂 東京都	F.H.	
家近 信子 東京都	小野寺けい子 岩手県	小林 裕美 東京都	竹下 道夫 東京都	西村 敬子 京都府					
五十嵐重雄 東京都	小野寺健一 岩手県	小林 容子 東京都	竹中 富知男 東京都	西村 醇子 神奈川県					
池浦 慧 東京都	小幡 尚孝 東京都	駒見 俊彦 東京都	龍川 優 東京都	日本フィルハーモニーアカデミー					
池田 博 東京都	小原 道生 東京都	五味 康昌 神奈川県	立山 裕子 熊本県	ニー協会所沢支部					
池野 隆光 東京都	折田 正樹 東京都	酒井 重人 東京都	田中稀一郎 東京都	埼玉県					
池谷 光司 東京都	風間 沙織 神奈川県	酒井 和夫 神奈川県	田中 宏征 兵庫県	二村 英之 東京都					
伊佐山建志 東京都	賀澤 裕三 福島県	酒井 伸 長野県	田仲 博幸 東京都	沼口 元彦 東京都					
石井 榮 東京都	鹿島 英裕 東京都	佐藤 武男 東京都	田中 將介 神奈川県	根本 直之 千葉県					
石澤 卓志 千葉県	片貝 英重 東京都	佐藤 寛之 東京都	田辺三基男 東京都	箱崎 一彦 千葉県					
石塚 邦雄 東京都	片柳 彰 東京都	佐藤 正昭 東京都	谷 聖美 神奈川県	橋倉 宏行 埼玉県					
石橋 雄三 神奈川県	片山 英二 東京都	座間 淑美 神奈川県	田村 一 山梨県	蓮見 正純 東京都					
伊藤 貴博 東京都	加藤 壱康 静岡県	澤田 初恵 東京都	田村 浩章 東京都	羽田 洋子 神奈川県					
伊東 宏恭 神奈川県	加藤 丈夫 東京都	柴田 栄一 東京都	塚本 和久 東京都	濱田 尚人 東京都					
伊藤 昌司 東京都	加藤ひろみ 東京都	島田 精一 東京都	塚本 美幸 東京都	林 一郎 東京都					
稻葉 治樹 茨城県	加藤 洋一 東京都	島田 敏生 神奈川県	辻 雅夫 東京都	原 俊 千葉県					
稻葉 好正 東京都	加藤 賴宣 東京都	島田 晴雄 東京都	鳴井 厚伸 東京都	針谷 博史 東京都					
犬塚 静衛 東京都	金子 修 埼玉県	清水 久子 東京都	津田 義久 東京都	平井 邦子 神奈川県					
井上 俊信 埼玉県	金子 肇 千葉県	清水 幸雄 東京都	常石 博之 東京都	平井 嘉朗 東京都					
井上 直人 東京都	上條 貞夫 東京都	下河辺美知子 東京都	積田 孝一 東京都	平田 邦夫 神奈川県					
井上 浩良 東京都	上條 淑子 東京都	下條 英敏 神奈川県	d日本フィルの会	平田 正 神奈川県					
岩瀬 順子 神奈川県	川合 孝一 千葉県	下田 英一 東京都	寺澤 佳代 東京都	平林 直哉 東京都					
岩田 達明 静岡県	川瀬 範子 東京都	生島 貴司 千葉県	東京フロイデ合唱団	平松 恒治 東京都					
上野悦子・陽子 東京都	川畠 雅義 東京都	新庄 茂方 大阪府	東京都	廣瀬 勝貞 大分県					
宇賀神裕子 神奈川県	河田 義宏 東京都	晋友会合唱団 東京都	時枝 直満 東京都	深沢 茂実 神奈川県					
臼井 潤 東京都	菊池 和美 東京都	菅 千太郎 東京都	徳田 俊一 東京都	福井 英次 東京都					
内村 恒彦 神奈川県	喜多耗久江 東京都	杉山 秀子 東京都	徳田 陽一 東京都	福田 昭夫 東京都					
江頭 啓輔 東京都	北村 篤嗣 埼玉県	杉山 浩明 東京都	外山 雄三 東京都	藤井 裕一 東京都					
江口 和廣 東京都	北村 裕 神奈川県	鈴木 昌子 神奈川県	中尾 誠利 神奈川県	藤沢 薫 東京都					
遠藤 滋 神奈川県	木藤 正義 埼玉県	鈴木 康夫 東京都	ナガオカケンメイ 東京都	藤本由紀子 東京都					

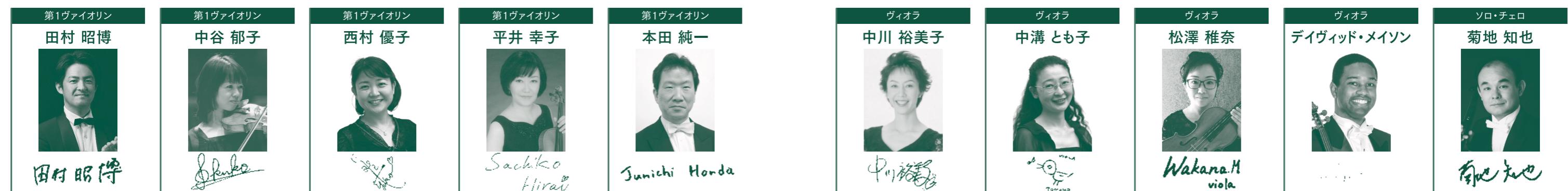
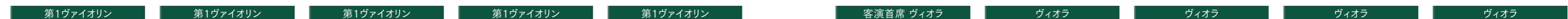
## 日本フィルハーモニー協会 維持会員ご芳名

(2021年4月1日現在・50音順・敬称略)

青木 孝	小田倉 正	相良 幸男	武井 新	羽生 賢次	三好 敦生
青木 隆	柏崎 和枝	佐々木忠義	武田 幸子	早川征一郎	民放労連関東地方連合会
赤星 弥生	加藤 明	佐藤 雅道	多田 栄一	広田 孝志	柳瀬 友則
荒井 隆志	金本 順子	佐藤 安雄	田中 謙	深沢 茂実	山縣 博
有田 正治	神谷 薫	澤口佳乃子	坪井 憲治	藤井 行雄	山下 芳広
石澤 卓志	萱場 基	下山 泰彦	東保裕の介	藤川 寿彦	渡辺 勝次
石田 尚身	岸田 正博	菅原 章文	富澤 裕	藤村 文二	渡辺 政則
石田 英雄	北宮千恵子	鈴木 重澄	富田 節子	古川 武志	
伊藤 茂雄	木村 繁	鈴木 重行	永井 福枝	古瀬 明弘	
伊藤 正明	倉田 茂	鈴木 富美	長沢 光子	本堂 育	
岩崎 貞明	蔵貫 義朗	住江 慶子	永田 康	前島 景子	
海野 尚久	小島 鈴枝	隅田 真	中山 泰子	増田 文彦	
大塚 宏二	斎木 典子	高田 昌樹	野田 孝	松井 務	
岡登 弘志	坂本 博志	高津 正徳	野中 和行	皆川 文弘	

# 楽団紹介

◆創立指揮者 渡邊 晓雄	◆客員首席指揮者 ネーメ・ヤルヴィ
◆桂冠名誉指揮者 小林 研一郎	◆首席指揮者 ピエタリ・インキネン
◆名誉指揮者 ルカーチ・エルヴィン	◆桂冠指揮者 兼芸術顧問 アレクサンドル・ラザレフ
◆名誉指揮者 ジェームズ・ロッホラン	◆正指揮者 山田 和樹



# 樂団紹介

二平郎平子茂三子夫雄  
伸昭克良明 進淑辰哲

( 2021年  
7月1日現在 )

# 日本フィルの公益活動を応援してください

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

## ■コンサートを聴いて応援する

### [ 東京／横浜定期会員 ]

月に1度のサントリーホール、神奈川県民ホール・ミューザ川崎シンフォニーホール・カルツカワさきで聴く贅沢な時間。S席年間会員(全10回)の場合、1公演あたり4,800円に!1回券10回購入と比べると約40%お得です。

#### 東京／横浜定期会員

- 特典① 専用指定席:会場にお客様の専用指定席ができます。
- 特典② 優先確保:次期シーズンのお席を優先的に確保します。
- 特典③ チケット振替可能:東京定期／横浜定期期間でチケットの振替が可能です。ご都合によりご来場できない場合、東京／横浜定期演奏会を同月内の東京／横浜定期演奏会にお振替いただけます。
- 特典④ 優先申込:日本フィル主催公演を一般発売の1週間前からお申込みいただけます。
- 特典⑤ 1割引:日本フィル主催公演を1割引でお求めいただけます。(一部公演を除く)
- 特典⑥ ホテル割引:開演前・終演後はお近くのホテル(東京定期:ANAインターコンチネンタルホテル／横浜定期:横浜ベイホテル東急)にくつろぎの時間を過ごしてください。

### [ サポーターズクラブ ] 年会費 1万円

音楽に関心をもつ皆様に「日本フィルのサポーター」として、日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。招待券のプレゼント、日本フィル主催公演チケット優先受付・ご優待(1割引)、会報誌・イベントのご案内などの特典満載。さらにお友達を10人ご紹介いただくと、定期会員券(半季)を進呈いたします。

※クレジットカードで直接申込みいただけます。

<https://www.facebook.com/JPOsupportersClub>



## ■個人の寄付で応援する

詳細はこちら▶

### [ パトロネージュ(個人寄付会員) ]

寄付(1口・年額)…3万円／5万円／12万円／20万円／50万円／100万円

日本フィルの演奏活動、社会貢献活動をさらに充実させるため、パトロネージュ・システムによる個人の皆様のご支援をお願いしております。演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。

### [ 日本フィルハーモニー協会 ]

寄付(1口・年額)…一般会員5千円／維持会員2万円／他

「日本フィル協会」は1973年の創設以来、「市民とともに歩むオーケストラ」日本フィルを物心両面で支え、地域で楽団員と協力して行うコンサート作りなどユニークな活動を行ってきました。会員と日本フィルをつなぐ会報紙『市民と音楽』『とおんきごう』が隔月でお手元に届くなど特典があります。

### [ オンライン寄付 ]

日本フィルの「被災地に音楽を」ほか、多彩な活動を支えていただくために、温かいご支援を心よりお願いいたします。

クレジットカードで簡単に寄付できます。

<https://japanphil.or.jp/support/fundraising>

### [ 遺贈 ]

遺贈とは所有されている財産(一部または全部)を遺言によって、公益法人や社会貢献団体に寄付することです。日本フィルでは生前のご寄付のほかに、遺贈も承っております。遺言書の作成、手続きなどは、提携(信託)銀行をご紹介いたします。日本フィルハーモニー交響楽団総務部へご相談ください。

## ■クラウドファンディングで応援する

詳細はこちら▶



### [ コンサートの聴き手・支え手を広げるプラットフォーム ]

2018年度にスタートした、クラウドファンディングによる資金調達は、これまで、新しいコンサートのありかたを作る「落合陽一×日本フィルプロジェクト」で4回、社会的に困難な子供と家族に日本フィルの演奏をプレゼントする「ひとり親のご家庭に日本フィルの演奏会をプレゼント」2回の資金調達を実施し、多くの皆様のお力添えで2,900万円を超えるご支援をいただきました。

またこれにより、日頃オーケストラのコンサートに来場しない方およそ5,000人に、会場やオンラインで日本フィルの演奏会をお楽しみ頂くことができました。

2021年度も、8月11日の公演実施に向けたプロジェクトを実施中です。これからも、日本フィルを支える人の輪を広げる活動として積極的に取り組んでまいります。

## ■グッズを買って応援する

詳細はこちら▶



### [ Tシャツ／CD／コラボグッズなど ]

オリジナルTシャツやCD、そのほかコラボグッズなどを販売しています。  
グッズの収益は日本フィルの演奏活動に役立てています。

<https://japanphil.or.jp/goods>

## ■法人の寄付・協賛で応援する

詳細はこちら▶



### [ 法人寄付(特別会員)／寄付会員 ]

年会費36万円(月3万円)／1口より

演奏活動、教育活動、地域活動への共感、ご理解くださる企業法人の皆様へご支援をお願いしております。多くの幅広い皆様のお力添えにより、事業の一層の充実を図りたいと願っております。定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。

### [ 協賛 ]

名曲コンサート、サンデーコンサート、第九演奏会など、各種公演を日本フィルとともに盛り上げませんか。冠協賛公演では、商品の展示も可能です(ホールにより差異あり)。詳細は問い合わせください。

### [ 活動支援寄付 ]

活動全般・特定の事業に対する寄付で日本フィルをご支援ください。

\*法人寄付は損金算入の枠拡大を利用できます。

## 個人の寄付は税額控除が受けられます！

●公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団への寄付金は、税制上、税額控除の優遇措置が受けられます。

●東京都・杉並区にお住まいの方は個人住民税の寄付金による控除の対象となります。

●相続により取得した財産の一部または全額を寄付した場合、寄付した財産に相続税が課税されません。

\*詳しくは国税庁のサイトをご覧ください。